

平成 29 年度 北海道小学校長会 第 2 回理事研修会

全連小第 2 2 6 回理事会 第 6 9 回総会・研修会報告



5月23日(火)の理事会,24日(水)の総会・研修会に参加した。

理事会では,会長に種村 明頼 氏(東京都),副会長に前田 良文 氏(長野県)と井上 淳司 氏(大阪府)が互選され,道小の角野 誠 会長を始め11人の常任理事,3人の監事が互選された。総会での議案や大会宣言文案が検討されたのちに,全連小佐賀大会の案内とともに平成30年度函館大会の大会大綱が示された。

翌日の総会・研修会では平成29年度の全連小活動方針として,

(1)学校経営の充実,(2)研究活動の充実,(3)「生きる力」の育成を目指す教育課程の編成・実施・評価・改善,(4)教職員の資質能力の向上,(5)教職員の定数や処遇改善

の5点が挙げられ,これらの推進に当たり,全連小としての凝集性を高め,組織の活性化と長期的ビジョンの下,各地区・各都道府県小学校長会との連携を一層密にして組織活動の充実に努めていくことが確認された。

午後の研修では,文部科学省の教育課程課教育改革調整官・平野 誠氏から「新学習指導要領のねらいと方向性について」と題する講演があった。これまでの学習指導要領のもと,小学校では概ね良好に生きる力が育まれているとの認識の下,新学習指導要領において各教科でより具体的な取組を一層進めてほしいとの話があった。そして,小学校での学びは,今後強化しようとしている高校教育改革,大学教育改革,そして高・大接続改革につながるものであるという説明もあった。

その後,初等中等教育局財務課長 伊藤 学司氏,児童生徒課長 坪田 知広氏からの行政説明があった。

教材整備にかかわる地方財政措置・教職員定数の改善・教員勤務実態調査の結果・不登校児童生徒を支援する施策・性同一障害に係る児童生徒への対応等の人権課題・キャリア教育・就学援助・学校図書館の活用についてなど,594ページの資料をもとに多岐にわたって説明があった。

続いて,情報教育課情報教育振興課長 安彦 広斉氏からプログラミング教育について,スポーツ庁の小林美保氏よりオリパラ教育について,それぞれ説明があった。

閉会式では,大会宣言が採択されるとともに,全連小佐賀大会の代表者から挨拶がありました。「分科会の充実を最大のおもてなし」とうたい,充実した大会が期待されます。